

《戦後80年》

気候変動の影響を受ける国 マーシャル諸島、ツバルの歴史・文化・日本との関係

—戦後80年のことし、平和やこれからの持続可能な社会について考えてみませんか—



講師：黒崎岳大さん（東海大学観光学部准教授）

専門は太平洋島嶼（しょ）国の政治・経済学、文化人類学。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（文学）。同大学文学部助手、在マーシャル日本国大使館専門調査員、外務省アジア大洋州局事務官などを経て2022年から現職。

全2回

第1回：8月1日(金)午後2時から4時

マーシャル諸島の歴史と日本との関係 —近くで遠い国の人びとの戦後史—



ミクロネシアに位置するマーシャル諸島共和国は、実は日本との関係が深い島国です。戦前は日本の委任統治領として日本の文化の影響を受けてきました。戦後は米国との関係の中で、核実験などのために故郷を追われた人々もいます。気候変動の影響を受けるこの国の現状について学んでいきましょう。

第2回：8月8日(金)午後2時から4時

気候変動に揺れるツバルの人々の暮らし —そして私たちができる国際協力—



ポリネシアに位置するツバルは、しばしば「気候変動による海面上昇の影響で国土の消失の危機にある国」として報道されています。ただ現地調査を続けていると、この国は気候変動以外にも様々な課題に直面していることがわかります。ツバルをはじめとした太平洋の島国に対して私たちはどのような協力ができるのか一緒に考えてみましょう。

場 所 公民館緑分館 学習室A・B・C

戦後80年

対 象 市内在住・在勤・在学の方



定 員 30人(多数抽選)

その他の 保育あり(概ね2歳以上10人。要事前申込)

申 込 7月11日(金)までに、往復はがきまたはEメールに、氏名(ふりがな)・
年代・住所・電話番号・を明記して、公民館緑分館「戦後80年」係へ

【問い合わせ】

公民館緑分館 ☎ 042-387-7301 ✉ k020414@nifty.com
〒184-0003 小金井市緑町3-3-23 緑センター ▶ <https://www.green-ntk-koganei.com>



HP



mail